

平成31年
1月1日

埼玉県老人クラブ連合会機関誌

特別号
No.6

彩愛クラブ埼玉

SAIAI CLUB SAITAMA

彩愛クラブ埼玉は、彩の国埼玉を愛する仲間が集い、
生きがいつくり・健康づくり・仲間づくり・地域づくりを
実践して、彩り豊かな、いきいきとした
よろこびの輪を広げています。



新地域支援事業への参画!

埼玉県老人クラブ連合会会長 新藤 享弘

新年あけましておめでとうございます。
会員の皆様には、日頃から全身全霊をかた
むけて、すばらしい老人クラブ活動をして
いただき、誠にありがたく御礼申し上げます。

昨年、5月に県老連の会長に就任いたし
まして、県内の各地域で、楽しい仲間づく
りを基本に多種多様な活動で、会員増強を
図り、老人クラブの活性化に努めております。友愛活動での
支え合い、助け合いづくりから安全安心な社会を築き、老人
クラブは今や地域になくてはならない存在になっていると、
強く感じております。

今回6回目の発行となる特別号は、「新地域支援事業」参
画への推進をテーマに、見守り活動、体力測定会、元気体操
健康活動での新地域支援事業に参画した事例、会員増強に成
功した連合会を掲載させていただきました。一般高齢者をま
きこみ、支え合い助け合いの精神あふれる記事となっております。
ぜひ参考にしてください。

また、前日本福祉大学教授の中川晴夫先生に、新地域支援
事業への参画から「助け合いの文化」を地域に定着させよう
と題し、すばらしいコメントをいただきました。クラブ活動
の評価、進むべき道をご指導していただきました。感謝申し
上げます。先生のご期待に応えられるよう、一歩でも前に進
む決意です。

これからも皆様と共に、使命を果たし、県内クラブが発展す
るよう努力して参りますので、よろしく願い申し上げます。



埼玉の未来を切り開く

埼玉県知事 上田 清司

明けましておめでとうございます。

今年はラグビーワールドカップが、新し
く生まれ変わった熊谷ラグビー場で開催さ
れます。東京2020オリンピック・パラリン
ピックの準備とともに大会の成功に向け取
り組んでまいります。



人生100年時代といわれる中、運動や食事の改善等による
「健康長寿埼玉プロジェクト」や就労等を支援する「シニア
革命」に取り組んできました。今後は経験豊かなシニアに、
更に深く埼玉に関わってもらおう仕掛けを考えていきます。

また、格差拡大にも対応しなければなりません。例えば、
県内で展開されている「子ども食堂」などの取組も多角的に
支えていきたいと考えています。

そして今、第4次産業革命といわれる変革期を迎えていま
す。今後も航空・宇宙分野などの先端産業の創造や、AIな
ど先進技術の県内企業への普及を進めてまいります。

これからも物事の本質を捉え、新たな時代を切り開く施策
を埼玉から発信してまいります。

『新地域支援事業』 参画への推進

「助け合いの文化」を 地域に定着させよう

前日本福祉大学教授 中川 晴夫



中川 晴夫プロフィール

京都府生まれ。京都大学教育学部研究課程修了後、京都府教育委員会社会教育主事や各教育施設の勤務を経て、立命館大学・龍谷大学で講師を勤める。その後日本福祉大学に赴任。平成24年に日本福祉大学健康科学部教授を退職。一方、財団法人日本青年館中央理事や公益財団法人全国老人クラブ連合会評議員などを歴任する。また、現在、福祉教育研究所を主宰するかたわら、愛知県シルバークレッジや三重県シニアカレッジ、名古屋市鯉城学園などの講師を長年にわたり務めている。

専門は、生涯教育、社会教育、福祉教育など。主な著書に『生涯学習時代の青年期教育』『住民参加のまち作り』『地域づくりにおける公民館の可能性』ほか。

老人クラブとの主な関わりとしては、全国老人クラブ大会研究部会助言者や全国老人クラブリーダー中央研修会講師、各ブロック、都府県などの研修会等に各地へ出かけている。

「絆社会」から「縁（えにし）社会」へ

近年、「絆」の重要性がしばしば強調される。確かに「きづな」、つまり人と人とのつながりは大切であり、その必要性は言うまでもない。

「大辞林第3版」によると「絆」の本来の意味は、馬や犬、鷹などの動物をつなぎとめる綱のことであり、さらに人と人との絶つことのできないつながりや、離れがたい結びつきを意味する。絆の関係性は、家族や夫婦、友人など従来からの顔見知りを中心にしたものである。ところが、現在では「無縁社会」や「漂流高齢者」などの言葉に象徴されるように孤立し、援助や手助けが必要な人が急増している。絆ばかりを強調すると、安定した生活や人脈を築ける人のみが恩恵を受

けることにもなりかねない。つまり「絆格差社会」にもなりかねない。

わが国には「袖触れ合うも他生（多生）の縁」ということわざが古くから存在する。着物の袖は長いので、すれ違う時によく触れ合ったのであろう。しかし、それだけの関係でも人との縁は単なる偶然ではなく、深い因縁によって起こるものだから、どんな出会いも大切にしなければならないという仏教的な教えに基づいたものである。「他生」はこの世から見て過去および未来の生をいう語で、過去に縁があったかもしれないし、今後もどのような縁があるかもしれないことを示している。地域でのつながりが希薄になった今日、より必要とされるのは、「絆社会」型人間関係ではなく「袖触れ合うも他生の縁」のように「縁（えにし）社会」型への関係性



CMやメディアでおなじみのセレモニー、南越谷に誕生

セレモニー 葬儀式場

南越谷ホール グランド オープン

館内見学 受付中

JR 武蔵野線 南越谷駅
東武スカイツリーライン 新越谷駅 東口 徒歩 5分

あらゆる形式のご葬儀に誠心誠意 対応いたします。
一般葬 社葬 家族葬 火葬式

セレモニー
イメージキャラクター
風間 杜夫

24時間 365日 対応
安心 料金
届出 代行
安心の 無料

もしものときに備えて...
「事前相談」
「事前見積」を
おすすめいたします。

無料事前
相談サロン
旅行経験が豊富な
セレモニースタッフに
安心してご相談ください

www.sougi.info ☎ 0120-31-2000

浦和ホール JR「浦和駅」西口 徒歩3分 0120-21-8000	駒場ホール 「駒場土入口」バス停 徒歩1分 0120-41-1147	北浦和ホール JR「北浦和駅」西口 徒歩6分 0120-07-8000	中浦和ホール JR「中浦和駅」東口 徒歩3分 0120-41-1147	別所ホール JR「中浦和駅」東口 徒歩6分 0120-32-8000
武蔵浦和ホール JR「武蔵浦和駅」東口 徒歩5分 0120-10-0080	与野ホール JR「与野駅」西口 駅前 0120-27-8825	大宮ホール JR「大宮駅」東口 徒歩6分 0120-25-6411	コスミック大宮 JR「大宮駅」南口 徒歩8分 0120-01-5439	大成ホール ニューシタール「東武東上線大宮駅」徒歩8分 0120-75-4488
岩槻ホール 東武「岩槻駅」西口 徒歩7分 0120-46-0700	川口ホール JR「京浜東北線川口駅」西口 徒歩7分 0120-70-1145	西川口ホール 東武「西川口駅」西口 徒歩7分 0120-33-6111	柳川ホール JR「東浦和駅」徒歩8分 0120-83-1900	上尾ホール JR「東武東上線「上尾駅」東口 徒歩8分 0120-20-2002
越谷ホール 「越谷西口」バス停 徒歩2分 0120-71-1145	蕨ホール 「蕨西二丁目」バス停 徒歩1分 0120-76-7000	越谷東口ホール 東武スカイツリーライン「越谷駅」東口 駅前 0120-45-8000	春日部ホール 東武線「春日部駅」西口 徒歩7分 0120-11-3000	狭山ヶ丘ホール 西武池袋線「狭山ヶ丘駅」東口 駅前 0120-63-5000
				所沢やきぎ台ホール 西武池袋線「航空公園駅」西口 徒歩9分 0120-84-7000

の変換である。つまり、互いに他者とかかわる力量を高め蓄積していくことが求められている。

「ちょっとした手助け」が今求められている

2018年8月に公示された「生活と支えあいに関する調査」（厚生労働省）の結果が、今注目を浴びている。その一部を紹介すると、例えば「ちょっとした手助けが必要な時に頼れる人が有るか」との問いに対し、独り暮らし高齢者の男性では実に30.1%の人が「頼れる人がない」と答えている（同女性9.1%）。さらに「手助けが必要な時でも人に頼らない」と答える人が、同男性では15.5%、女性で10.8%にも上っている。

高齢者のみの世帯や独り暮らしが急増する中で、例えば「電球を交換したい」「家具の移動を手伝ってほしい」などのちょっとした手助けや支えあいの必要性が一層増している。人は互いに支えられ、また逆に支えながら暮らしている。そのつながりが人々の困難や窮地を救ってきた。「ちょっとした手助け」は今後ますます切実な課題になっていく。さらに誰もが助け合いがしやすい「地域コミュニティ」の仕組みが求められている。

地域社会のつながりが衰退し、地域の生活から切り離されると高齢者は孤立する可能性が急増する。退職後の目標喪失、孤独感を持つ人は少なくない。退職した後、家庭を活動の場の中心に置く機会は、家事の機械化、外部化が進み、以前に比べ大きく減少している。それとの比較で地域が活動の場として可能性を拡大してきている。しかし、現実には地域活動への参加は限られている。その様な中で老人クラブの存在意義が改めて試されることとなる。



地域に「であい」「ふれあい」「わかちあい」の場を

それでは地域のつながりをどう回復させていけばよいのでしょうか。当面2つのことが考えられる。1つは、地域の中で、共通の目的を持ち「共に汗を流し」、心のつながりを共感できる「であい」の場を新たに設けていく。さらに「地域社会や人のためになる」活動を通して「ふれあい」の機会を育てていく。つまり「感謝する」「感謝される」人間関係を再び構築し、その取り組みを通して「わかちあい」や「助け合い」の場を地域に培っていく。回りくどいようであるが、今日の地域社会の現状では、これ以外につながりの再生の道

筋は考えられない。このような取り組みを進めていくことは、折しも3年前から始まった介護保険制度の「新地域支援事業」のめざす「福祉のまちづくり」と多くの部分で重なることが多い。この事業に積極的に参画し、貢献することは老人クラブにとって絶好の試しあいの機会と考えるのは私だけであろうか。



「助けあいの文化」をすすめることこそ、老人クラブの神髄

地域のつながりを回復させるもう一つの取り組みは「助け合いの文化」を地域に育み、定着させることである。お金がなくても、肩書がなくなっても、独り暮らしになっても、少々認知症になっても、互いに上手に迷惑をかけ合いながら「生きる術」を身につけていける助け合いの文化が育てば随分と暮らしやすくなる。「助け上手」になるには「助けられ上手」になるのが一番手っ取り早い。そこで助けられ上手になるための5つの覚書を紹介したい。

- ① 助けてと言える相手を作る。
- ② 自分なりのSOSの発し方を工夫する。
- ③ 普段は助け上手になる。
- ④ 世話にならないと家族に絶対言わない。
- ⑤ 助け合いのグループや団体に加入する。なければ自分たちで作る。これらをぜひ日常化してほしいものである。

地域に「であい」「ふれあい」「わかちあい」の場を設け、さらに「助け合いの文化」を育てていく。これらこそ、結成以来「健康・友愛・奉仕」を基本に活動を行ってきた老人クラブの神髄であり、誇るべき伝統でもある。これらの取り組みにより、会員のみならず地域の高齢者の助けあいの輪を広げることは、多くの人々の共感・共鳴をよび組織の活性化にもつながるであろうことは予測に難くない。



「見守り・話し相手」で新地域支援事業へ参画

越谷市老人クラブ連合会

1. 地域の概要 (30.9.1現在)

- ① 越谷市の人口 : 342,152人
- ② 65歳以上の人口 : 84,769人
- ③ 高齢化率 : 24.8%

2. 越谷市老人クラブ連合会(越老連)について

- ① クラブ数 : 93 ② 会員数 : 4,637人
- ③ 組織 : 会長をリーダーとする「友愛推進委員会」

3. 協議体(第1層)

協議体の役割は、急激に増加する越谷市の高齢化に備え、多様化する高齢者ニーズに適合する福祉対策を企画、立案し、官民が協力して対策を実行することにある。

その環境下で越老連は、協議体に参画して地域包括ケアシステムの構築、新地域支援事業に協力し、その一翼を担うことを越老連及び会員に周知し、協力体制を構築する必要があった。

①新地域支援事業移行年と協議体(第1層)の発足年

・移行年 : 平成27年4月 ・協議体の発足年 : 平成28年6月

②参加した理由

- ・全老連の行動提案「新地域支援事業に参画し、老人クラブが生活支援の担い手に」
- ・友愛活動と越谷市の新地域支援事業(生活支援)の内容がほぼ同一。
- ・平成23年度から越谷市全域で展開してきた友愛活動の経験、実績。

③メンバーの構成

- ・越老連に設置した友愛推進委員会(正副会長、運営委員、女性部会委員で構成)
- ・67単位クラブ(137チーム)、1,105人の会員

④会議内容やスケジュール

- ・越老連・運営委員会で新地域支援事業への参加是非について協議し、参加を決断。(平成29年8月)

4. 新地域支援事業を進めるための周知

越老連は、役員、会員を対象に勉強会、研修会を次の通り行った。

①新地域支援事業の周知対策の策定

越谷市・地域包括ケア推進課の担当者に、新地域支援事業について説明願う方針を決定。

②役員・単位クラブ会長等の研修会を開催、「越谷市・地域包括ケア推進課」の担当者を招き、新地域支援事業について説明願った。

第1回研修会 : 28年7月7日 / 第2回研修会 : 29年7月7日

③単位クラブ友愛活動担当者などへの周知のための勉強会

越谷市の新地域支援事業・担い手研修会に、友愛活動担当者等100人が参加。

◇29年度 : 平成30年2月、「2日制研修会(8時間)」へ2回参加

◇30年度 : 平成30年8月、9月、「2日制研修会(8時間)」へ2回参加

5. 越老連・単位クラブにおける新地域支援事業の取り組み

①参画を決めた理由

越谷市が越老連に求める活動は、「多様なサービスB:生活支援」であった。一方、越老連・単位クラブは、平成23年より活動を開始したクラブと、後発クラブとが混在しているため、全てのクラブが活動可能な「生活支援」を選択した。

②これまでの経緯

高齢化が急速に進展する現在、「越老連の友愛活動」、「越谷市の新地域支援事業」は、時代が求める活動と理解しているものの、当初は、この生活支援活動の参加に足踏みする単位クラブがあり、意見統一にかなりの期間を要した経緯があった。しかし、この活動は、将来の自分自身を助ける対策でもあることが決め手になり、単位クラブ各位にご承認頂いた。

③取り組み内容

具体的な活動は、「見守り・連絡」、「話し相手」、「ごみ出し」とし、活動に余裕のある単位クラブは、通常の友愛活動を行うこととしている。

この活動により、独居高齢者の孤独死及び孤独感の解消などに対応できると確信している。

6. 他団体との連携

①新地域支援事業に参画し、他団体(行政、社協、地域包括支援センター等)とどのように連携を深めたのか?

・越老連は、平成28年7月、「越谷市生活支援体制整備に係る第1層協議体」に参画した。

・協議体のメンバーは次の通りであり、地域包括ケアシステム構築の協議を通じて連携することとなった。

「地域包括支援センター、社協、民生・児童委員、シルバー人材センター、福祉推進員、等」

②老人クラブ活動のPRにどのような変化があったか?

・越老連は、友愛活動の実績をまとめ、研修会で単位クラブ役員に報告する他、越谷市等にも資料を配布、報告を行っている。

7. 今後の目標

①越谷市の新地域支援事業に参加したことにより、越老連会員はこの活動が自分自身を助ける対策であることに気づき、担い手としての活動に益々、注力、推進するものと期待している。

②この事業への参加が

今年度であるため、越老連の活動評価は今後、出されることになる。然し、前項の会員の意識変化からして、この活動への参加者は増加していくものと期待している。



生命の源“海”へと還る…いま話題のエンディング。

海洋散骨
CEREMONY Ashes Scattering at Sea

自然が好きだった、自由に生きていた…
あの人が望んでいた大海原への散骨

セレモニー
イメージキャラクター
風間 杜夫



代行による散骨から、ご親戚一同で故人様を送る感動のプランまで



散骨代行プラン 90,000円 (+消費税)

- 粉骨料込み ●乗船及び日時指定はできません
- 散骨の様子を撮影してお渡しいたします



プライベートプラン 150,000円 (+消費税)

- 粉骨料込み ●2名様まで乗船できます
- 当社指定日時からの選択が可能です
- 他のご遺族も乗船する合同葬となります



家族プラン 310,000円 (+消費税)

- 粉骨料込み ●6名様まで乗船できます
- 他のご遺族も乗船する合同葬となります
- 当社指定日時からの選択が可能です(指定日時以外の乗船は、オプションとなります)

航行の安全確保のため、天候などにより出航を見合わせ、散骨日を延期させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

これからのご葬儀は「くらべて選ぶ」時代です。



セレモニー

事前見積
ご相談
無料

TEL 0120-41-1147

海洋散骨 で 検索

www.kaiyosankotsu.com



体力測定会で新地域支援事業へ参画

春日部市いきいきクラブ連合会

1. 春日部市の概況

本市の概況ですが、平成30年10月1日現在で、人口は234,824人、65歳以上の人口は70,225人、高齢化率は29.9%となっています。

2. 春日部市いきいきクラブ連合会

春日部市いきいきクラブ連合会は、単位クラブは56クラブ、会員は2,228人となっています

また、本連合会の組織は、三役、常任理事のほか、総務部会、教養部会、文化部会、体育部会、広報部会、女性部会等により構成され、それぞれが各事業を担当し、積極的に活動しています。

3. 協議体（第一層）

本市の第一層協議体は、「かすかべ支え合い会議」として、平成28年に発足しました。本連合会も市からの要請もあり、発足時から構成メンバーとして参加しています。

この支え合い会議は、市内の各団体の代表者が集まり、地域における支え合いの状況を確認し、意思統一を図るような場となっています。

4. 新地域支援事業を進めるための周知

本連合会も何か新地域支援事業に取り組めることはないかということで、平成28年4月に単位クラブの会長に説明会を行いました。介護保険制度の改正からの説明となるため、なかなか理解していただくことが難しい状況でした。

平成29年4月に再度、役員に対して勉強会を開催するとともに、5月に三役会、常任理事会、女性部会に市の担当者を招き、市の新地域支援事業への取り組みについて説明していただきました。

さらに、7月にも三役会、常任理事会で、市の担当者より市の考え方を説明していただきました。

5. 春日部市いきいきクラブ連合会の新地域支援事業の取り組み

市では、住民が主体となって地域を支えていく必要があり、地域の元気な高齢者が支える側になることで地域の支え合いの仕組みを構築していきたいということでした。



本連合会が新地域支援事業に取り組むにあたり、新たな事業を始めるのではなく、現在の活動の中で、新地域支援事業に合致するものがあれば、それでもよいということであったので、すでに実施して



いる事業で参画できるかどうか話し合いを進めました。

連合会として参画するのであれば、各単位クラブで実施しているものよりも、全体で実施している事業、また、会員向けではなく、一般の方向けに実施している事業がよいのではないかとということで、一般の方も対象として連合会で実施していた「体力測定会」を新地域支援事業として実施することに決めました。

その後、さらに内容や実施方法などを話し合い、測定種目を変更するなど改善を行い「体力測定会」を実施しました。

6. 他団体との連携

新地域支援事業に参画するにあたり、本連合会の事務局をお願いしている市の担当職員と、折に触れ、話し合いを行ってきたところです。

また、「体力測定会」の会場では、参加した一般の方に、いきいきクラブの会報誌をお渡しし、いきいきクラブの周知を行うとともに、加入の勧誘を行いました。

7. 今後の目標

新地域支援事業として参画した「体力測定会」は、いきいきクラブ連合会を多くの高齢者に知っていただくためのよい機会だと考えています。

そのためには、会員以外の高齢者に大勢参加いただけるよう、市の協力をいただきながら、広く周知をしていきたいと考えています。

また、新地域支援事業として、「体力測定会」の内容を見直し、実施したことにより、担当する会員の気持ちの中にも、今までと違う事業として、積極的にアピールして会員増強につなげていこうという気持ちが芽生えたように思います。

これからも、一つでも多くの事業で新地域支援事業に参画できるよう、検討を進めていきたいと思っています。

大好評!! 日帰りバスツアー第15弾

「こうふ開府500年」 武田信玄公ゆかりの地と 名勝を巡る歴史探訪の旅

2019年1月9日(水)
受付開始!

出発日 2019年4月4日(木)・11日(木)



ランチ付き

旅行代金

一般参加の方 消費税含む	7,000円	互助会会員様 消費税含む	5,000円
-----------------	--------	-----------------	--------

※定員になり次第締切らせていただきます。
※料金はバス代・昼食代・入場料・保険代を含みます。
※当日の集合場所等につきましては、参加者の方に改めてご連絡いたします。

武田神社

当日の観光ルート

出発 埼玉県各地 → (圏央道/中央道) → ハーブ園散策 → 武田公ゆかりの地へ → 武田神社(関連施設見学) → 宝石庭園/信玄の里:風林火山/響の里(昼食) → モンデ酒造ワイナリー見学試飲 → 信玄餅の「桔梗屋」工場見学 → 埼玉県各地 到着 ※渋滞により行程が変わる場合があります。

ツアーお申し込み・お問合せ先 ※受付は1月9日(水)からの開始になります

ツアーリスト浦和
平日10:30~18:30
(火曜定休日)

048-834-0077

Ceremony
セレモニー

株式会社セレモニー 〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-4-13 ☎048-822-6446(代)
(旅行企画・実施)近畿日本ツーリスト㈱一般社団法人日本旅行業協会正会員 観光庁長官登録旅行業1944号 東京都千代田区神田1-7-8
ホームページもご参照ください。 www.ceremony.jp

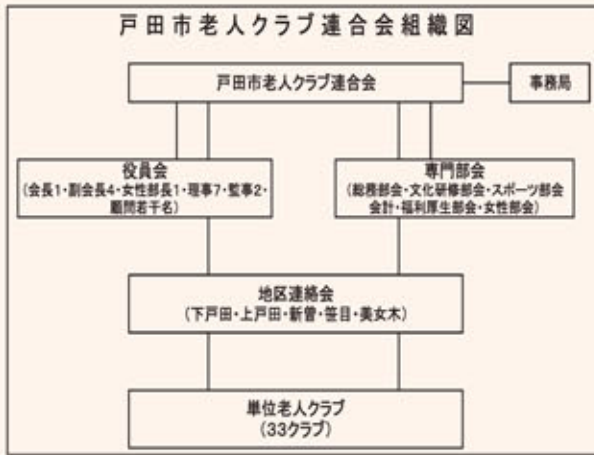
戸田市老人クラブ連合会

1. 地域の概況 (平成30年9月1日時点)

- ①人口：139,484人
- ②65歳以上人口：22,516人
- ③高齢化率：16.1%
(県内一若いまち)

2. 戸田市老人クラブ連合会について

- ①クラブ数：33クラブ
- ②会員数：1,844人 (男性679人、女性1,165人)
- ③組織：



3. 新地域支援事業 (重りを使った介護予防体操「TODA元気体操」)を進めるための周知の方法

- ①戸田市老人クラブ連合会の事業 (演芸大会等) で周知
- ②地域包括支援センター新聞 (全戸配布) に掲載
- ③地域のネットワーク会議での発表 (H28)
- ④敬老会での実演 (H29・H30)
- ⑤テレビ埼玉、J:Com川口・戸田での放映
- ⑥動画投稿サイトYouTubeでの公開
- ⑦県老連女性委員会交流研修会事例としての発表 (H30)



4. 市老連・単位クラブにおける新地域支援事業の取組み

- ① TODA元気体操に参画を決めた理由
会員の多くが健康寿命を少しでも延ばし、住み慣れた地域で、いつまでも元気に過ごしたいと願っていました。そのような中、戸田市から住民主体の介護予防事業として、TODA元気体操の紹介がありま

した。この取組みは、住民主体で行うことで、地域の方々助け合い、見守り、交流の場としても機能しております。また、埼玉県老人クラブ連合会事務局からもご助力いただき、参画しようと考えました。

②これまでの経緯

平成27年10月にTODA元気体操リーダー第1期生の養成講座があり、老人クラブ連合会女性部から8名参加しました。講座終了後、各人が地域に戻り、会場の確保や参加者の募集など、様々な問題を解決しながら、開催に向け尽力しました。今では、住民主体のこの体操教室は、市内17か所まで広がっています。(平成30年9月時点)

③取組み内容

TODA元気体操は重りを使った介護予防体操です。体操教室は、原則週に1回開催しており、一人ひとりの身体の調子に合わせて重りの負荷を変えられること、ケガをしづらいゆっくりとした体操です。声を出しながら行うため、血圧の上昇を抑えながら行う筋力トレーニングで、効果は折り紙つきです。リハビリの専門職である理学療法士の指導の下、介護予防リーダーが中心となり会場を運営しています。また住民主体の体操であり、地域の方々助け合い、見守り、交流の場としても機能しております。会場ごとに認知症の予防体操や、歌を取り入れ、月に1度茶話会を開催するなど、それぞれ工夫を凝らして、取り組んでいます。



5. 関係機関との連携

高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターが、TODA元気体操の参加希望を受け、希望者を各教室に繋いでいます。また、TODA元気体操以外にも戸田市社会福祉協議会と協力して、おりがみや食事会、映画鑑賞など工夫を凝らしたサロンを開催しております。今後も引き続き関係機関との連携に努めていきます。

6. 今後に向けて

TODA元気体操を始めて、参加者から、「歩行や階段の昇り降りが楽になった!」、「外出する習慣がついた!」といった声を頂いています。一方で、休みがちな方やなかなか外出する頻度が少ない方に参加してもらうために、より魅力的な場づくりを進めていく必要があると考えています。TODA元気体操に参加している方が、その町会の老人クラブに加入した事例もありましたので、体操の参加者・老人クラブの会員を共に増やせるよう今後も積極的に取り組んでいきたいと考えています。



みんな元気に介護予防!

こだわりぬいた食材と日本料理を極めた料理人による最高の献立が上質な味覚のハーモニーを奏でます

Dining Restaurant
Jigen 次元

www.stelladellangelo.com/jigen

DINNER MENU

◇季節の会席コース
12,000円コース / 8,000円コース / 5,800円コース
※価格は税別です。

LUNCH MENU

◇鯛茶漬 1,500円 ◇二段重 2,000円 (天麩羅付き 2,500円)
◇華籠膳 3,000円 (天麩羅付き 3,500円)
※価格は税別です。

PARTY PLAN

◇立食・着席洋食プラン (2時間飲み放題付き) 7,500円 (税+込)
◇着席和会席コースプラン (2時間飲み放題付き) 8,000円 (税+込)

レストラン会場 | 【個室】(5名~12名)
お食事会・ご結婚・七五三・お誕生会等用途はさまざま。古希・喜寿祝いなどのご利用も、お気軽にご相談ください。

【レストラン会場】(総席数32席・貸切20名~40名様)
入り口から続く金箔の天井と室内のモダンなデザインが融合するラグジュアリーな空間。レストランウエディングにも。

個室

さいたま市中央区上落合 2-1-25 ステラ・デル・アンジェロ B1F
【平日】11:30~15:30 (L.O.15:00) / 17:00~23:30 (L.O.21:30) ※最終入店 21:00
【土日祝】17:00~23:30 (L.O.21:30) 【定休日】火曜・12/31~1/3

ご予約・お問い合わせ ☎048-859-6500

宴会 忘・新年会 貸切パーティ ご予約承り中

ご希望にあわせ最適なお料理・コースをご提案させていただきます。詳しくはお問合せください

JR埼京線「さいたま新都心駅」徒歩6分
JR埼京線「北与野駅」徒歩1分

～健康活動から地域支援事業への参画及び会員増強～

新座市老人クラブ連合会

1 地域の概況

◎人口	165,434人
◎65歳以上人口	41,734人
◎高齢化率	25.22% (平成30年10月現在)

2 新座市老連について

◎クラブ数	41クラブ
◎会員数	1,868人 (平成30年10月1日現在)
◎組織	

現在、新座市老連では、健康活動部会、生きがい活動部会、学習活動部会、奉仕活動部会、友愛活動部会の5つの部会を設置し、活動を行っております。

3 協議体 (第1層)

新座市では、平成27年度から新地域支援事業を開始し、平成29年度に完全移行しました。第1層協議体への参加は、市老連会長が被保険者代表として参加しました。

平成30年度から事業を見直し、現在は、第2層協議体の立上げに取り組む中で第1層協議体に求められる機能等を整理した後、再度新たに立上げる予定です。メンバーについては、市内6圏域における第2層協議体のメンバーから選出することも含めて検討しています。

4 地域支援事業を進めるための周知

老人クラブ会員へ地域支援事業を周知するため、各单位クラブの会長が集まる理事会に介護保険課の職員を招き、地域支援事業についての説明を行いました。また、会員全員に配布する機関紙「彩愛クラブ新座だより」に地域支援事業についての記事を掲載することで、市老連全体で知識を共有化できるよう図りました。

5 市老連・単位クラブにおける地域支援事業への取り組み

①新座市老連が参画を決めた理由

平成26年の介護保険制度の改正（介護保険制度の中で「要支援」に認定された高齢者への介護サービスは各市町村ごとに独自の「新地域支援事業」として、平成27年4月から3年の間に移行する）に伴い、全老連から「老人クラブがこれまで取り組んできた数々の健康活動・介護予防活動・友愛活動の経験を活かし、市町村における新地域支援事業の協議の場に積極的に参画していくよう」通達があったため、新座市老連は市に対し行動提案を示しました。

②これまでの経緯

新座市では、市内の高齢者が住み慣れた地域でいつまでもいきいき生活できるよう、平成26年度から「健康長寿のまちにいざ推進事業」（65歳以上の方を対象とした健康体操等）を開始し、地域全体で健康づくりに取り組むことで健康寿命の延伸を目指しています。

この健康寿命の延伸を目指すに当たり、新座市老連事務局と新地域支援事業担当が、当時、同じ所属であったことから、関係者を含めて話し合いを行い、まず、新座市老連が得意としている「健康活動」及

■新座市老人クラブがおこなっている友愛活動の特徴■

- ①「健康づくり支援」…高齢者の健康づくりにつながる機会をつくる
→平成27年度から健康体操及びウォーキング事業を市の事業に統合
- ②「多様な通いの場づくり」…外出のきっかけとなる通いの場をつくる
→平成27年度から市の事業に統合
- ③「多様な生活支援」…暮らしの中のちょっとした困りごとを支え合う
→平成29年度から「生活支援体制整備事業」を活用して拡充
- ④「見守り支援」…日常生活での目配り
- ⑤「情報伝達支援」…暮らしの役に立つ情報を届ける

び「多様な通いの場づくり」部分（下記表：老人クラブがおこなっている友愛活動についての①・②）について、「市の事業」として統合しました。

これにより平成27年度からは、老人クラブ会員が市の事業へ積極的な参加と協力をすることで、さらなる継続的な健康づくりや介護予防ができる環境を整備しました。

③取り組み内容

(1)「にいざ元気アップ広場」(健康体操及びレクリエーション)

対象者：65歳以上の方（参加対象を高齢者全体に広げています）
内容：運動指導員、にいざの元気推進員、保健師が地域の集会所で、体操やレクリエーション、血圧測定等、様々なメニューを1年通して行っています。平成29年度は市内38か所の集会所等で計381回実施いたしました。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
実施会場数	市内26か所の集会所等	市内36か所の集会所等	市内38か所の集会所等
実施日	月曜日の午前中 一部木・土曜日午後開催あり	月曜日の午前中 一部木・土曜日午後開催あり	月曜日の午前中 一部木・土曜日午後開催あり
参加延人数	5,971人	8,694人	9,064人

※老人クラブの役割：会場の準備、片付け、受付、反省会への参加等の役割を担っています。



にいざ元気アップ広場の様子

(2)「にいざ元気アップウォーキング」(ウォーキング)

会場：市内6つのコース（3.5km～5kmのコース）
開催日：月1～2回、年間計14回、9：30～11：30
内容：参加者がそれぞれ目標を持ち、緑豊かな市内（市外）の緑地や川辺付近をウォーキングします。
参加者数【平成29年度実績】：年間13回実施（雨天のため1回中止）
延べ432人参加（平均33.2人）

※老人クラブの役割：各コースの設定及び検討、受付、準備体操、誘導、安全確認の役割を担っています。



にいざ元気アップウォーキングの様子

6 他団体との連携

これまでは活動が市老連で完結してしまう部分が多くありましたが、地域支援事業に参画し、市老連がこれから第2層協議体に参加していくことで更に他団体との連携の強化ができると考えています。

一般の高齢者への老人クラブ活動PRとしては、各種市老連のイベント時に機関紙の配布、また地域の高齢者を対象とするセミナーなどでのPR活動を実施してきました。

7 今後の目標

地域支援事業により、自身の健康を保つだけでなく、一般高齢者の方々と親睦を図る機会が生まれました。それによる多様な集いの場づくりが地域を活性化させ、地域支援事業への老人クラブの更なる主体的な参画に繋がることを期待しています。

以前はイベント時でしか難しかった会員増強のPRですが、地域支援事業に参画し元気アップ広場や元気アップウォーキングなどが始まったことにより、そこから一般参加者の入会に繋がるなど、以前に比べて老人クラブの窓口が広がったと感じています。

今後は地域支援事業をこれまで以上に活性化させ、事業の一般参加者同士が新たに単位クラブを立ち上げられるような環境づくりもしていきたいと考えています。

県老連活動紹介



スポーツ大会



県老連女性委員会交流研修会

女性委員会交流研修会



スポーツ大会



社交ダンス大会

編集後記

この特別号は6回目の発行となります。今回は、新地域支援事業への参画から「助け合いの文化」を地域に定着させよう(2・3ページ参照)と題し、前日本福祉大学教授の中川晴夫先生に依頼し作成していただきました。多大なるご協力を賜り厚く感謝申し上げます。また、4ページからは市町村老連の新地域支援事業へ参画した4市老連の活動事例を紹介させていただきました。本誌発行にあたり原稿のご協力をいただいた4市老連事務局と4市介護保険課の皆様厚く御礼申し上げます。

掲載市老連に共通したことは、市老連として組織の力を活用し、新地域支援事業への理解を深め勉強会等を開催し、介護保険課と共に連携することで新地域支援事業への参画へ結びついたのだと確信しています。また、この参画により会員増強にも繋がるのが明確です。この特別号を参考にし、新地域支援事業参画での会員増強のヒントにご活用いただき、老人クラブ活動の活性化に取り組んで頂きますようお願い申し上げます。

本年度も株式会社セレモニーの本社より多額の協賛を賜り、ありがとうございました。株式会社セレモニー社長志賀司様には深く感謝の意を表します。
広報委員長 成田準之助



セレモニー本社 志賀社長と共に



県老連広報委員会委員

Special Campaign

オープン1周年記念
ご友人ご親族様紹介キャンペーン開催中

ご紹介者様に **5万円分商品券***1

ご成約者様に
ウエディングアイテム **20万円分***2

プレゼント

期間：2018年11月3日から
2019年6月30日まで

1st Anniversary

Stella dell'Angelo

ステラ・デル・アンジェロ

☎0120-87-8000

さいたま市中央区上落合 2-1-25
JR 京浜東北線/宇都宮線/高崎線
「さいたま新都心駅」徒歩6分
JR 埼京線「北与野駅」徒歩1分

www.stelladellangelo.com

ご予約・お問い合わせ / 11:00~20:00 (火曜定休)

詳しくはお電話またはホームページにてお問い合わせください

*1 50名以下の挙式・披露宴の場合は商品券2万円分プレゼント。お受渡しは挙式・披露宴後です。
*2 32名以下の挙式・披露宴の場合はお料理のグレードアッププレゼント。